

けんちく夜会とは

まちづくり委員会では、今年度から定例委員会を年に6回建築士会事務局にて開催。
また、フィールド委員会と称する現場での委員会を、年に4回程度開催したいと考えています。
そしてまた、定例委員会6回の内の3回程度については、「けんちく夜会」と銘打って、世の中の諸々について語り合う、緩やかな会を試験的に始めることにしました。
テーマやお呼びするゲストは、その回の夜会を担当するコーディネーターにお任せしています。
「けんちく夜会」は、まちづくり委員会の委員のみならず、総ての建築士会会員、将来的には一般市民の方にも広く開かれた会に育って行ければと考えています。初回のコーディネーターは、まちづくり委員会の藤森さんです。
藤森さん企画の記念すべき、第一回「けんちく夜会」の始まり始まりです…。

- まちづくり委員長 坂田卓也

ゲストプロフィール

- 天竜林業研究会 (<https://www.facebook.com/TenryuRinken>)

昭和59年に天竜市林業研究会が発足し、林家の交流と情報交換、林業技術や林業経営の研究を行ってきました。平成17年度からは、浜松市が広域合併を行ったので、今まであった5つの林研グループを1つにするとともに、天竜区の各森林組合の職員や林業事業体の職員にも声をかけ、会員数34名の天竜林業研究会として改めて活動を開始しました。現在の会員数は29名で、天竜区だけでなく、木や森に興味がある人は男女問わず、広く受け入れるようになりました。

- 新天竜プロジェクト (<http://newtenryuproject.tumblr.com>)

新天竜プロジェクトは、天竜の森林資源に関するプロモーションを行い、天竜の森林資源のさらなる活用と新たな活用に寄与することを目的とし、平成27年4月1日設立しました。

- 熊平智司/昭和43年4月生まれ(47歳)

静岡県林業指導員/静岡県指導林家/静岡県林業研究グループ連絡協議会会長/すずくま代表
静大附属小中卒/静岡県立磐田南高校卒/麻布大学環境保健学部衛生技術学科卒/財)食品農薬安全性評価センター
30歳から林業につく。/12代目

- 鈴木将之/昭和49年9月生まれ(41歳)

天竜林業研究会会長。
我が家の林業の歴史はおよそ150年。山林所有面積は50ha。
内訳 ヒノキ7割 スギ2割 雑木1割無節の柱、板等がとれる役物の生産に力を入れている。
寺院、仏閣等に使用される大径木材の生産。共同で磨き丸太の生産も行っている。

- 内山文寿/昭和41年8月生まれ(内山写真デザイン事務所代表/<http://uchiyamapdoffice.tumblr.com>)

静岡県に生まれる。写真撮影・デザイン制作の傍、現在天竜の林業と自然をライフワークに取材を行っている。
2015年1月写真展「きこり -美しき天竜の森ではたらく若人-」開催
2015年4月天竜の森林資源に関するプロモーションを行い、
天竜の森林資源のさらなる活用と新たな活用に寄与することを目的に「新天竜プロジェクト」を設立しその代表を務める。
2015年12月企画写真展「天竜の森・自然・きこり」(浜松市秋野不矩美術館)開催

第一回夜会コーディネーターより

第一回のコーディネートを務めさせていただくことになりました、藤森です。
まちづくり委員会は今期より、「けんちく夜会」と銘打っていつもの委員会のお時間を借りて新しい試みを始めるとなりました。委員会の皆さんの興味のあること、日ごろの活動の話題、もちろん建築についてなどなど、話ができる場になることを望んでいます。
また、外部からゲストの方なども招待して、新たな知識を深めたり、思いがけないつながりも生まれたら良いですね。

さて、初回は旧天竜市の生まれで、秋野不矩美術館で天竜の森の写真展を行っていた内山さんのつながりで、現在天竜の林業に携わっている熊平さん、鈴木さんをゲストに迎えることができました。
自分も祖父が以前林業を営んでいたため、子供のころ天竜に連れて行ってもらった事がよくあり、親しみがある山です。
天竜の森のこと、材木のこと、林業のことが聞ける機会ですので、ぜひお集まりください。
また、事務局の好意で、飲食・アルコールも可となっています。
楽しい時間になるよう、肩を張らずに取り組んで生きたいと思っています。

- まちづくり副委員長 藤森輔(たすく)

会場案内・問い合わせ先

会場：建築士会西部ブロック事務局
住所：静岡県浜松市中区田町2-26-6/丸八平野ビル3F
1FにサークルKサンクス
電話：053-451-5166

※駐車場は最寄のコインパーキング等をご利用ください。



西部ブロックまちづくり委員会

